

中期目標の達成状況報告書 (第3期中期目標期間終了時) (概要)



【教育研究の中期計画に係る自己評価結果】

項 目	中期 計画数	6年目終了時 自己評価			4年目終了時 評価結果		
		3	2	1	3	2	1
1. 教育に関する目標	28	9	19	0	5	21	2
2. 研究に関する目標	16	9	7	0	7	9	0
3. 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した 教育・研究に関する目標	2	2	0	0	1	1	0
4. その他の目標（グローバル化）	3	1	2	0	1	2	0
合 計	49	21	28	0	14	33	2

(参考：中期計画の判定区分)

判定	
3	中期計画を実施し、優れた実績を上げている
2	中期計画を実施している
1	中期計画を十分に実施しているとはいえない

中期目標の達成状況報告書 優れた点一覧

1. 教育に関する目標

中期計画番号1～28

優れた点

- 共同教育学部の設置 (1-2-1-1)
- 情報学部を設置 (1-2-1-1)
- 理工学部の改組 (1-2-1-1)
- [双方向でのオンライン授業の早期実現 \(1-2-1-3\)](#)
- 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 (リテラシーレベル)」への認定 (1-2-1-3)
- 新型コロナワクチン職域接種の実施、学生に対するワクチンに関する情報提供 (1-3-1) ※中期計画には直結しない新型コロナ対策の優れた点
- 新型コロナの影響で経済的な困窮に陥った学生への経済的な支援 (1-3-1-1)
- [「グローバル・ハタラクラスぐんま」の成果及び「留学生就職促進教育プログラム」への認定 \(1-3-1-2\)](#)
- キャリアカウンセリングの拡充 (1-3-1-2)
- [障害学生への情報保障を含めた完全オンライン授業の早期実現 \(1-3-1-3\)](#)
- 手話サポーター養成プロジェクト室における事業の推進 (1-3-1-3)

2. 研究に関する目標

中期計画番号29～44

優れた点

- 「第1回ぐんまテックグランプリ」参加及び本学初のクラウドファンディング (2-1-3-1)
- [株式会社SUBARUとの大型の共同研究講座の設置 \(2-1-3-1\)](#)
- [JST「第2回輝く女性研究者賞 \(ジュニアシダ賞\)」の「輝く女性研究者活躍推進賞 \(機関受賞\)」の受賞 \(2-2-1-4\)](#)

3. 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標

中期計画番号45・46

優れた点

- こども体験教室「群馬ちびっ子大学」のオンライン開催 (3-1-1-1)
- 大学発ベンチャーによる抗菌・抗ウイルス効果がある銅繊維シートの開発及び草津温泉の新型コロナ不活性化効果の実証 (3-1-1-1)
- 群馬県の新型コロナワクチンの集団接種への協力 (3-1-1-1)
- りょうもうアライアンスの活用による外部依頼分析の増加 (3-1-1-1)
- [桐生市との連携による「科学技術イノベーションによる地域社会課題解決 \(DESIGN-i\)」への採択 \(3-1-2-1\)](#)
- NEDO「ムーンショット型研究開発事業」への採択 (3-1-2-1)

4. その他の目標(グローバル化) 中期計画番号47～49

優れた点

- [ポストコロナ時代を見据えたオンライン協働教育の展開 \(4-1-1-1\)](#)

・6年目終了時の達成状況報告書について
【1】(1-1-1-1)～【49】(4-1-1-3)までの中期計画のうち、
4年目終了時評価結果を変えうるような顕著な変化があったと判断した中期計画について、2020～2021年度の具体的な実施状況及び判定の結果等を記載する。

・優れた点
優れた成果を出した取組であると判断されるものや、
取組の結果、教育研究の質の向上が第2期中期目標期間終了時点から比べて目覚ましい状況にあると判断されるものなど

1. 教育に関する目標における主な優れた点

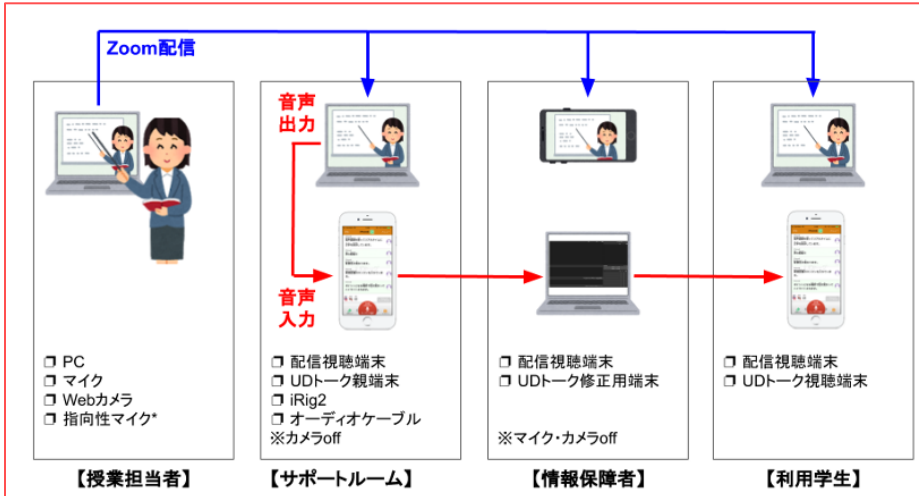
- 双方向でのオンライン授業の早期実現 (1-2-1-3)
- 障害学生への情報保障を含めた完全オンライン授業の早期実現 (1-3-1-3)

新型コロナウイルス感染症による未曾有の危機に際して、2020年度の前期授業開始前に教職員によるオンライン授業実施推進チームを編成し、以下の取組を実施することで、**早期（4月20日）から全学的に双方向でのオンライン授業を開始した。**

- ・「オンライン授業実施のためのガイドライン」の作成
- ・オンライン授業をサポートするためのポータルサイトの開設
- ・ICT機器の使用方法等に関する研修の実施

また、オンライン授業における情報保障として、文字通訳（音声認識アプリ「UDトーク」、遠隔パソコンテイク）及び手話通訳を実施することで、**聴覚障害学生への対応も含めた完全オンライン授業を開始できた。**

(下図)音声認識アプリ「UDトーク」を活用した、オンライン授業における情報保障の流れ



- 「グローバル・ハタラクラスぐんま」の成果及び「留学生就職促進教育プログラム」への認定 (1-3-1-2)

本学では2017年度以降、「グローバル・ハタラクラスぐんま」プロジェクトを通して外国人留学生の県内定着を促進する教育カリキュラムを構築してきた。2017年度に文部科学省「留学生就職促進プログラム」に採択された「グローバル・リーダーシップ・プログラム」では、2018年～2020年度にかけて、計30名が全カリキュラムを修了、130名が一部カリキュラムを修了した。**全カリキュラムを修了した留学生の日本国内の企業への就職率は96.7%、群馬県内の企業への就職率は63.3%に至った。**

さらに、2021年10月28日には文部科学省の初の試みとなる「留学生就職促進教育プログラム」に認定された。

(下表) 2018～2020年度の留学生の就職実績

※「グローバル・ハタラクラスぐんま」コンソーシアム加盟高等教育機関からの報告を集計

日本国内の企業への就職率	全カリキュラム修了	96.7%
	一部カリキュラム修了	66.2%
	カリキュラム受講せず	42.3%
群馬県内の企業への就職率	全カリキュラム修了	63.3%
	一部カリキュラム修了	28.5%
	カリキュラム受講せず	10.6%

(下図) 「グローバル・ハタラクラスぐんま」プロジェクトの活動の様子



2. 研究に関する目標における主な優れた点

●株式会社SUBARUとの大型の共同研究講座の設置 (2-1-3-1)

新しく企業を巻き込んだ産学官協働形として、本工場を含む主要な自動車生産拠点を群馬に置く**株式会社SUBARUとの共同研究講座「次世代自動車技術研究講座」**を大学院理工学府内に2020年4月1日付で設置した。これまで個々に進めていた共同研究を統括し、群馬大学が持つ理工系、医学系、保健学系、情報系の知のリソースを結集することで、群馬大学-SUBARU間で戦略的、包括的、組織的に株式会社SUBARUの研究課題を解決するための取組を進めるフレームワークも本講座が担う。

2020年度中に「SUBARUニーズに基づく重点3分野(安全、感性、設計プロセス改革)の共同研究プロジェクト」を発足させ、それぞれのテーマについて、各研究室の教員及びび学生も参画して、環境整備・調査・研究を本格化させている。

2021年度には、共同研究テーマにおける研究成果を学生がまとめ、株式会社SUBARUとの連名で3件の学会発表を行った。

(下図)「次世代自動車技術研究講座」設置報告会の様子



●JST「第2回輝く女性研究者賞(ジュニアシダ賞)」の「輝く女性研究者活躍推進賞(機関受賞)」の受賞 (2-2-1-4)

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が女性研究者の活躍を推進している機関を表彰する第2回「**輝く女性研究者賞(ジュニアシダ賞)**」において、「**輝く女性研究者活躍推進賞(機関受賞)**」を受賞した。

これは、女性研究者の積極的な採用・登用を進めるとともに、研究活動支援者の配置やダイバーシティ推進センター共同研究促進事業等の継続、及び**理工学府において積極的な女性限定公募等により、2015年度末に4.0%だった女性研究者比率が2021年度末には8.2%まで大きく上昇した**こと、「**医学系女性研究者上位職ポストアップシステム**」によって女性研究者を上位職(教授・准教授)へ登用したことなど、女性研究者への支援を長期にわたり継続したことが評価されたものである。

(下図)「輝く女性研究者活躍推進賞(機関受賞)」の受賞式の様子



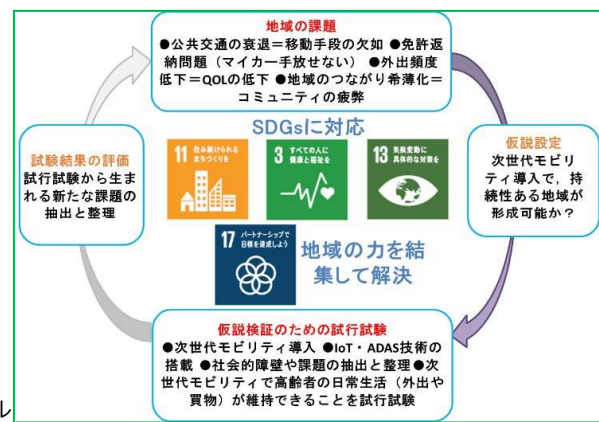
3. 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標における主な優れた点

● 桐生市との連携による「科学技術イノベーションによる地域社会課題解決 (DESIGN-i)」への採択 (3-1-2-1)

桐生市と連携して、「**科学技術イノベーションによる地域社会課題解決 (DESIGN-i)**」に申請し、**2020年6月に採択**された。高齢化及び公共交通の衰退による免許返納問題、高齢者の外出頻度低下を原因とするQOLの低下及び地域のつながりの希薄化という地域課題に対して、「複数種類の次世代モビリティを導入することで健康で元気に住み続けられる地方都市モデル」の構築を進めた。

本事業をきっかけに、地域住民らにより「桐生市社会福祉協議会第14支部次世代モビリティ協議部会」が新たに設置され、スローモビリティの自主運行に向けた取組を実施するなど、大きな成果が見られた。

(右図) 研究の実施サイクル



4. その他の目標 (グローバル化) に関する主な優れた点

● ポストコロナ時代を見据えたオンライン協働教育の展開 (4-1-1-1)

コロナ禍の影響により、渡航を伴う学生の派遣と受入が困難であったが、海外の協定大学と連携して、オンラインを活用した新たな国際協働教育を始めた。2020年度から、**COIL型 (Collaborative Online International Learning) の国際協働プロジェクト**を実施し、これまでの語学のみを学ぶ海外短期研修から、協定校との連携により、語学を学びつつ、海外の大学生と一緒に協働プロジェクトを行うアクティブラーニングの要素を持つ国際PBLに切り替えた。2020~2021年度で、COIL型国際協働プロジェクトは、**計5研修実施し、本学の学生60名が参加**した。

さらに、DXにより、協定大学間の国際連携をさらに加速させる取組として、2021年度中に、協定校の間で授業科目を共有し、学生のバーチャルエクスチェンジを可能とする**オンライングローバルキャンパス (Smart Campus-to-Campus : SCC) の構築を開始**した。2021年11月に、FUNIX (ベトナムFPTコーポレーション) と、SCC構築のための協定を締結した。また、このSCCの枠組みを活用して、SCCのメンバー機関となるベトナムFPT大学及び関連する企業、病院、教育機関との連携により、単位認定のCOIL型の国際インターンシップを実施し、本学の学生10名が参加した。

(下図) FUNIXとの協定締結のための調印式の様子



中期目標の達成状況報告書 達成できなかった点一覧

1. 教育に関する目標

中期計画番号1~28

達成できなかった点

▲定量的な指標「群馬県義務教育諸学校全体における教員養成の占有率40%」の未達成（1-1-1-6）
⇒新型コロナの影響による学習・生活リズムの変化や、対面指導ができなかったことに加え、2021年度の課題発表の遅れ及び内容の大幅変更により、今まで同様の対策では上手くいかなかったことが主な原因と考えられる。年間を通して教員採用数の向上を目指す取組をしている。

※教員占有率については自治体の採用状況の変化等が考慮される。

▲定量的な指標「県内からの入学者率50%」の未達成（1-4-1-3）
⇒群馬県の18歳人口及び大学進学者数の減少に加え、新型コロナの影響で広報活動が減退し、県内高校へのアピールが不足したため。2021年度に新たな試みとしてオンライン個別進学相談会を実施した。

2. 研究に関する目標

中期計画番号29~44

達成できなかった点

▲定量的な指標「（未来先端研究所における）派遣及び受入れ期間を1週間以上とする研究者の国際交流年間3件以上」の未達成（2-1-1-4）
⇒新型コロナの影響で海外派遣及び受入れを実施することが困難な状況であったため。海外との往来が困難な状況下においても、オンラインの活用等によりリモートで若手研究者が研究交流を重ねた。

3. 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標

中期計画番号45・46

達成できなかった点

該当なし

4. その他の目標(グローバル化) 中期計画番号47~49

達成できなかった点

▲定量的な指標「学生の海外派遣 年間200人」「留学生の受入れ 年間300人」の未達成（4-1-1-1）
⇒新型コロナの影響で、学生の海外派遣及び留学生の受入れが中止または一時停止されてため。国際交流を鈍化させないため、オンラインを活用した新しい国際協働教育を海外協定大学等と連携して実施している。

・達成できなかった点

中期目標期間終了時に達成できなかった理由や課題等

外的環境要因等（新型コロナ含む）が大きく変化したことが認められると判断し、取組のプロセスや内容を総合的に評価して、定量的な指標の未達のみをもって「十分に実施しているとは言えない（【1】判定）」とはしない

「改善を要する点」の改善状況

●定量的な指標「（修士課程における）第3期中期目標期間中の修了者の教員就職率90%の未達成」の改善状況（中期計画 1-1-2-3）
⇒本学は社会要請に応じた抜本的改革として、2020年4月に教職大学院を再編・拡充し、教職リーダーコースの他に、従来の修士課程で培った専門性向上の要素を引き継いだ授業実践コース及び特別支援教育実践開発コースを新たに加え、計3コースを設置した。
修士課程において、2020年度の教員就職率は94.4%となり、目標を達成した。また、再編により一本化した教職大学院において、教員就職率は100%を維持しており、修士課程において掲げていた教員就職率90%以上を達成している。